

夢のある生活を実現する 店舗一体型の住宅づくり



父親は大工で、幼い頃から飯場や工事現場を遊び場のようにして育つ。その影響から学校卒業後は地元の建築会社に就職。一級建築士として様々なノウハウを培い、1984年、郡山市で(有)吉田敏一建築研究所を開業。30年以上の業界歴がある。

代表取締役

吉田敏一

川上麻衣子
女優



スウェーデン出身。両親はインテリアデザイナーで、幼少からスウェーデンと日本を行き来した。14歳で役者デビュー。『3年B組金八先生』で注目を集めて以降、ドラマ・舞台などで活躍中。吹きガラス職人として展覧会を開くなどマルチな才能を持つ。

川上 経済が停滞している日本では、庶民が家を持つことが難しくなっていると思います。「夢のマイホーム」が、夢のまま終わってしまう人が多いですよね。

吉田 そうですね。でも、住居を持つ喜びは多くの方が平等に享受すべきです。私が考案した仕組みであれば、竣工から16年後には住宅費ゼロで暮らすことが可能ですよ。

川上 どういう仕組みなんですか。

吉田 定期借地権付の土地に低層階の集合住宅を建てるんです。1階は店舗用としてテナント貸して、住民は上階に住む。テナント料は住民全ての収入とし、ローン返済に充てていくと16年で返済できます。その後のテナント料は維持費などに充てるのです。

川上 素晴らしいですね! 路面店となれば店舗も借りやすいと思います。

吉田 この方式のように、助け合いながら家を安く購入するのは、先行き不透明な日本のような社会でこそ求められていると言えます。当社はこのシステムを「心の中に「灯り」をともし」イメージで、フランス語で「光」を意味する「リュミエール」と名付け、大々的にPRしていくことにしたのです。

川上 「リュミエール」には他に、どんな特長がありますか。

吉田 鉄筋コンクリートと木造のハイブリッド工法を採用しています。コンクリートは劣化せず、耐火性や遮音性に優れている。木材は柔軟性や可変性があるためコストが安い。それぞれの大切な役割を活かせるのがハイブリッド工法なのです。

あと私は、集合住宅づくりでは必ず地域のコミュニティとなる共有スペースを設けることにしているんです。

川上 ご近所どうして関わりを持たない家が増えていますから、共有スペースを設けることで助け合いの精神を取り戻せそう。吉田社長は施主のニーズに応えるだけでなく、広く社会全体を視野に入れて住宅づくりを考えていらっしゃることでよくわかりました。

吉田 建築というのは本来、街全体をつくるものだというのが私の考えです。私のノウハウを役立てようと、ミャンマーでボランティアもしているんですよ。国によって生活文化は違いますが、将来的には私の建築に対する考え方が浸透していけば嬉しいですね。



価格を抑えて購入しやすくした、新しいスタイルの集合住宅

〒963-8025
福島県郡山市桑野 2-37-21
ブログ▶
<http://yoshida-ad.dreamblog.jp>
TEL ▶ 024-939-0645
FAX ▶ 024-939-0755

詳しくは、ビープラス「経営者インタビュー」にて